

森林体験活動発表 の講評

森林体験活動発表の講評

公益社団法人 北海道森と緑の会

副理事長 角館 盛雄

発表なさった15校の皆さん、大変熱心な発表ありがとうございました。日頃から取組んでおられる活動の内容をパワーポイントを上手に使って分かり易くご説明頂きました。

発表の態度も落ち着いていて立派でした。

また活発な質問やお答えも発表を盛り立ててくれて大変良かったです。

さて講評に先立って、この発表に至るまで終始熱心にご指導頂いた先生方にまずもって敬意を表し感謝を申し上げます。子ども達の人間形成にとってこの活動は極めて重要と考えますので今後ともよろしくご指導下さいますようお願い致します。

今回発表の15校のうち、学校が保有する学校林を拠点とした活動が7校、国有林等との協定による遊々の森などでの活動が8校でした。それぞれ活動拠点は広さも学校からの遠近も様々でしたが、これらに適切に対応しいろいろ工夫がなされていました。その中には学校内のビオトープや緑地、広場、あるいは地域の公園や溪流など身近な自然を利用して活動の場を広げている発表が多く感心しました。

以下時間の関係もあり一つひとつの発表に対するコメントは出来ませんが、全体を通して感じたことを申し上げます。

皆さんの主な活動は、森林観察や植樹であったり野鳥観察であったりと様々ですが、皆さんはそれぞれの活動を通じて、森林の働きや自然の多様性、森の恵みなどをしっかりと受け止め、このことがひいては森を守り、森をもっと良いものにしていこうという気持ちを育んでいるように感じました。これが先ず全体を通じての印象です。

次いで具体的に四点ほど申し上げます。

その一つは、活動の内容の深まりです。

今回の活動で多かったのはやはり植樹<木を植えること>でしたが、中には単に木を植えるだけに止まらず、種子を採取し或いは森の稚樹を採集してこれらを育てるところから始めたり、上級生が地持えをし、そこに下級生が植樹するといった活動、また北海道勢で多かったカミネッコンによる植樹など植樹活動にもいろいろと広がりや深みが出てきたことを感じました。また間伐についても同様に、良い森づくりのためには人工林に枝打ちや間伐が必要なことを学び、実際に枝打ちや間伐に取り組んでいるばかりでなく、更に一步を進めて、その間伐材で木炭を作りそれでご飯炊きをしたという発表や間伐材で人形やお土産グッズを作ったりなど昨今話題の「木育活動」を実践していることに活動の深まりを感じました。

なおユニークな例として、児童全員がマイツリーを持って6年間継続して観察したり、学校手作りの「学習ミニ図鑑」を使って野鳥や草花の観察を深めている発表もありました。

次に二つ目として、活動が多様な広がりをもってきたことです。森での活動に止まらず、近くの川、湖、海へと領域を広げて生き物調べを行うなど『森と水と命のつながり』という本サミットのキャッ

チフレーズに通じる活動もありましたし、森の学校が川の下流の学校に呼びかけて始まった森の子と海の子との交流活動もありました。更には、漁師さんとの植樹体験を通じ、森から川を経て海に流れる豊かな水が海の生き物を育むという「自然の循環」を学習した発表など多様な活動ぶりに感心しました。なお、森林観察などを兼ねながら、クロスカントリー、オリエンテーリング、歩くスキーなどが各学校で行われており、学校林等の活動が身体の鍛錬や体力の向上に役立っていることをうれしく思いました。

さて三つ目は、皆さんが周りからの活動支援に対して抱く感謝の気持ちです。多くの発表にありましたが、自分達の活動が森林管理署やボランティア団体、地域の方々など多くの人達に支えられていること、更には森林も身近な自然も結局は人の手で支えられていることをよく理解し、これらの方々に感謝の気持ちをもって活動していることを感じました。このことは大変大事なことです、どうかこの気持ちを忘れないようにして下さい。

終りに、最後の発表「わたしたちの防災」についてです。今だに東日本大震災の被災地のことを思うと申すべき言葉がありませんが、あの津波災害の中で学校の裏山が果たした役割に着目し、問題点を考え実践している内容の発表でした。私は震災の風化を危惧する警鐘を聞く思いで伺いました。別の学校の先生からも防災との関連で井戸掘りや非常用燃料について考えたいという意見がありました。私も私見ながら、立地条件に合わせて森林環境教育と防災対策のあり方を考える必要性が高まっていると感じました。

講評の要点は以上ですが、発表校の皆さん！全国の仲間の発表を聞かれていかがでしたか。参考になったことは大いにとり入れて、お互いの活動を高め合うようがんばって下さい。

さて、このたびの子どもサミット開催に当たっては、多くの団体、企業の皆様から多大なご支援を頂きました。子ども達が全国の仲間とともに貴重な体験を積むことになるこの活動に暖かいご協力を賜ったことに対し、実行委員会を代表して厚く御礼申し上げます。

顧みますと本サミットは7回目を数えますが、教育現場のみならず全国各地の関係行政機関、森林管理署、ボランティア団体など多くの方々のご協力に支えられて今日があることを痛感しています。このようなことからこのたびの開催を節目に今後とも広く関係者が手を取り合ってこの活動の一層の推進を図っていく必要があると考えます。どうかご臨席の皆様はじめ広く関係各位のご賛同とご協力をお願い申し上げまして講評を終わります。

これをもって本日の森林体験活動発表会を終了といたします。長時間にわたり大変有難うございました。





特別講演

アイヌ文化と森のつながり…………… 60

「海だった森」と化石の話…………… 61

1日目

平成25年8月6日火

特別
講演

アイヌ文化と森のつながり

北海道アイヌ協会札幌支部 多原 良子

多原さんからは札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」はアイヌ語で「札幌の美しい集落」という意味で、アイヌ民族の生活や歴史、文化などを楽しみながら学び、理解を深めてもらうことを目的に建てられた施設であること、展示室にある伝統衣服や民具などは手作り品ですべて実際に手にとって触れることができることを紹介していただきました。

また、アイヌ民族は衣食住すべて自然から得ていたこと、「自然を神様のものととらえ、資源を大切に使ってきたのです」と話をされ、具体的に丸木舟をつくるときには木に語りかけ感謝しながら製作したこと、衣服も木の皮を必要な分だけありがたくいただくことなど「森に感謝しながら生きる」話をしていただきました。「森が豊かになれば海も豊かにならない。小学生のうちから森のことを考えて活動していることはすばらしく、自然へ感謝しながら取り組んで欲しい」と話をしていただきました。

その後、アイヌ民族の楽器であるムックリとトンコリの演奏をききました。ムックリはビヨーン、ビヨーンという不思議な響きがしました。トンコリは人の形に似ていました。美しい音色に心が癒やされ、発表前の緊張した気持ちを和ませていただきました。



講演



ムックリ演奏



トンコリ演奏

1日目

平成25年8月6日火

特別
講演

「海だった森」と化石の話

札幌市博物館活動センター学芸員 古沢 仁

札幌の奥座敷と呼ばれる定山溪は、豊かな緑に囲まれた温泉郷であるのみならず、この温泉街を流れる豊平川からは、近年貴重な化石が次々発見されています。これらの化石や豊かな緑はいつ、どのように造られたのでしょうか？その起源を訪ねてみようと思います。

北海道を含む日本列島北部は、日本海の拡大にともなって東に押し出されたユーラシアプレートの一部とオホーツク海の拡大によって南下した北米プレートの一部、そして南東方向から日本列島の下に沈み込む太平洋プレートの三者が衝突することで形成されました。プレートの衝突は日高山脈を形成し、沈み込みによるプレートの溶解はマグマとなって上昇し、火山を成長させました。今からおよそ1500万年前、この火山活動によって形成された山地が定山溪の山々です。

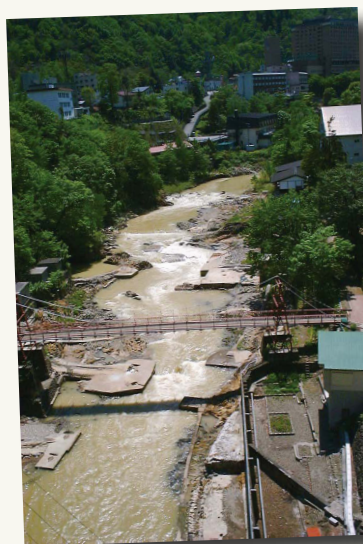
今からおよそ800万年前。石狩低地帯は日本海と太平洋をつなぐ海峡でした。深い海でしたが、周囲の陸地から大量の土砂が運ばれ、徐々に浅くなっていきました。その降り積もった砂や泥に閉じ込められた動物たちが化石となっていきました。その一つが、2002年、当時小学校5年生の女の子によって発見された「サッポロカイギュウ」です。その後、大型のクジラ化石も発見され、それぞれ世界的に注目を集めています。

その後、400万年前には海も浅くなり、再び火山活動が活発になりました。札幌から見る事のできる、緑豊かな藻岩山、円山、三角山、手稲山などの山々はこのころ作られていった火山だったのです。ではこの札幌の緑“植物”はいつから今のような姿になったのでしょうか。今の姿になったのは、厳しい寒さをもたらした氷河期（氷期）が明けたおよそ1万年前から徐々に形成されていきました。割合最近のことなのです。ただし、それ以前には今とは異なった環境に適応した植物が生えていたことでしょう。事実、サッポロカイギュウが発見された800万年前の地層からは、今とは異なる植物の花粉が多数発見されています。

みなさんの身の回りの森や緑もそれぞれの地域の歴史や環境を反映して茂っているはずです。みなさんの身近な自然をよく観察してその記録を蓄えていくことで、自然や環境がどう変わっていったのか、そして、未来はどうかを予測することができるはずです。これからも緑を大切にしながら、地球や身近な環境に関心を持ち続けて行ってください。



2002年に発見されたサッポロカイギュウの化石



定山溪温泉と
豊平川

